



国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所

## 湯沢河川国道事務所 トピックス



【お問い合わせ先】 湯沢河川国道事務所 〒012-0862 湯沢市関口字上寺沢 64 番地の 2 号

建設監督官 桜田 TEL 0183-73-5544

平成20年8月11日（月曜日）

# 生保内川昭和35年8月土砂災害犠牲者を慰霊

## 悲しい出来事を教訓として後世に伝えたい

平成20年8月3日（日）、NPO 法人「癒しの溪流・里・まちネット」（仙北市田沢湖）の呼びかけで昭和35年8月3日、当時の田沢湖町生保内を襲った水害、土砂災害による犠牲者の慰霊祭が行われ、被害の大きかった沼田地区の人たちを中心に37名が参加しました。

同水害は、昭和35年8月3日、午後3時から一時間の雨量が140ミリを超える集中豪雨で、土石流により同地区を流れる生保内川の堤防が約80メートルに渡って決壊し、破堤地点に近い沼田地区を直撃したものです。これによって、この地区の幼い子どもを含む15名の死者と行方不明者を出し、水害の範囲は、決して広くありませんでしたが、その被害は、秋田県の土砂災害及び水害史において戦後最大とも言われるものでした。

同 NPO 法人は、「生保内川癒しの溪流づくり」の一環として、水害のあった生保内川で子どもから高齢者まで楽しめるイベントを毎年実施しており、今後は、これらのイベントに加えて、沼田地区の人たちを中心とした地域の人たちとともに、「災害を考え、語る会」を結成し、「土砂災害、水害」という悲しい出来事を教訓として後世に伝えるため、今年を契機に毎年、慰霊祭を行うことを考えています。

また、同会では土砂災害、水害のみならず最近頻発する地震などの自然災害から生命と財産を守る災害に強い地域づくりに寄与する活動にも取り組み、水害から五十年の節目となる平成22年に「水害から五十年～自然災害を考える～（仮題）」市民フォーラムを計画しています。



慰霊碑の前で犠牲者を弔う



約50年前の写真を見ながら当時を語る



土石流により被害のあった田沢湖線



土石流により被害のあった家屋

集中豪雨 8月2日から3日にかけて、オホーツク海低気圧から朝西に伸びる前線が南下したため大雨となり、田代岳271㎜、陣場223㎜、藤琴191㎜となった。その後雨は田沢湖周辺に集中し、田沢湖町の田子の木で3日2時から21時まで405㎜を記録した。このため、田沢湖町向生保内部落で3日17時から18時にかけて生保内川がはらんし、死者14名、行方不明1名、河川128箇所砂防3箇所、道路62箇所、橋梁36箇所などのはか次の被害がでた。また、被害総額は14億2,420万円にのぼった。〔25〕〔26〕

集中豪雨による被害

被害種別	市町村別		大曲・仙北郡				北秋田郡	山本郡	県合計
	田沢湖町	角館町	中仙町	その他	花矢町 田代町	藤里町			
死者	人	14						14	
負傷者	"	14						14	
行方不明	"	1						1	
住家	全壊流失	棟	22	3				25	
	半壊	"	6	2	5			13	
	一部破損	"			35			35	
	床上浸水	"	452	251	261	8		972	
	床下浸水	"	593	29	519	10	43	1,194	
非住家被害	棟	194	146	53		10		403	
田	流失埋没	ha	10.1	0.5	94.5	10	5.4	120.5	
	冠水	"	329	347	320	134	11	1,142	
	浸水	"	420	200	400	274	3	1,327	
畑	流失埋没	ha	40	67	90			19.7	
	冠水	"	72		10	23	2	107	
	浸水	"	27	12		36		75	

(角館町、中仙町、田沢湖町に災害救助法、秋田県に天災融資法適用)